

GIGA スクール構想進行中

国は令和5年度までにGIGAスクール構想を進める計画でしたが、コロナ禍による子どもたちの学びの保障のため、機器導入の動きが一気に加速し、本市でも昨年度末、全小中学校に一人一台端末が配備されました。そして今年度は年度当初より、一人一台端末の活用が始まっています。

「GIGA (Global and Innovation Gateway for All)」とは、「全ての人に世界的で革新的な入口を」という意味です。GIGA スクール構想の目的は、一人一台端末を、単に災害時の備えとするだけではなく、子どもたち一人一人が最適に学ぶこと、教師と児童・児童どうしが協力ながら学び合うことを実現するための日常的な文具として活用することです。

子どもたちの適応力は素晴らしいものです。自分の育てている野菜の写真を撮ったり保存したり、体育で動画を撮って自分の動きを確認したり、社会や理科の調べ学習で物事を検索したり、漢字や計算のドリル学習を行ったり…。活用の範囲は日々拡大しています。

一方、先生方の苦労も並大抵ではありません。子どもたちに活用させるには、先生方が前もって使わせ方を分かっているなければなりません。5年分を前倒して行っているわけです。試行錯誤もありますが、各校に配置されたICT (Information and Communication Technology 情報通信技術) 支援員と協力しながら、必死で指導にあたっています。

家庭への持ち帰りでは、保護者の皆様にもご協力をいただいております、感謝申し上げます。なお、情報モラルにつきましては学校でも指導してまいります、ご家庭でもその重要性を話題にいただければ幸いです。



きよきた歴史散歩 特別編

6月に地域と保護者の皆様に配付させていただいた「きよきた歴史散歩」。うれしい反応がありました。「昭和35年度卒業記念碑は自分たちの代のものです」というお電話をいただいたのです！ お電話の主は谷田貝（旧姓黒崎）チカ子さん。毎年運動会前に、板戸盆踊りを指導してくださる方です。

谷田貝さんの記憶によると、この碑は当時の校舎の玄関前の築山にあったそうです。校舎改築の際に築山もなくなり、石碑も移されたのでしょう。当時の校舎というのは現在の校舎の前の前の校舎で、その玄関を移築したのが、平成30年まであった旧「懐古園」です。

今回のお電話では、「当時のことを懐かしく思い出しました。ありがとうございます！」とおっしゃっていただきました。こちらこそ、貴重な情報をありがとうございます。また一つ、本校が地域の皆様に愛されていることが分かりました。

このたび、懐古園の脇に改めて設置しましたので、学校においでの際には是非ご覧ください。



表面。
「昭和三十五年度 卒業
記念 校長 田邊三 書」



裏面。
「担任 藍原重雄」

夏まっさかり もうすぐ夏休み



【短冊に願いをこめて 1年生】

自分の願いを短冊に書き、笹の葉に飾りました。今すぐに叶ってほしいことや、将来の夢など、様々な思いが書かれました。「清原北小、全員の願いが叶いますように。」と、笹の葉の前でみんなでお祈りしました。(川原田)



【2年生は外国語活動大好き！】

英語での挨拶にも慣れ、英語を使っているような挨拶ができるようになってきました。エミリー先生とのやりとりや英語でのクイズを通して、「もっと聞きたい！話したい！」と目を輝かせ、やる気満々の2年生です。(大坪)



【天までとどけ！この願い】

「笹の葉さらさら…」教室には、素敵な声が響いていました。歌がとても上手な3年生。願いを込めながら歌いました。「もっとできるようになりたい」「頑張りたい。」という思いが溢れています。(加藤)



【夏休み明けも元気に会おう！ 4年生】

一人一人が、夏休みまでにがんばったことをふり返り、学習や生活などで自分達の成長を感じました。「夏休み明けも、元気にみんなで教室に集まろうね。」と笑顔で声をかけ合いました。(石田)



【すくすく育っています！ 5年生】

理科で育てたインゲンマメを教材園に植え替えました。その時にまいたオモチャカボチャもすくすく育ち、子どもたちの身長よりも大きくなりました。水やりも全員で交代で行っています。実がなるのが楽しみです。(大塚)



【力作と一緒に 6年生】

夏休みまでに各教科で様々な学習を行い、成果物が残りました。その中でも家庭科で制作した「ナップザック」は子どもたちの心に残る作品になったようで、何を入れるか楽しそうに話していました。(阿久津)